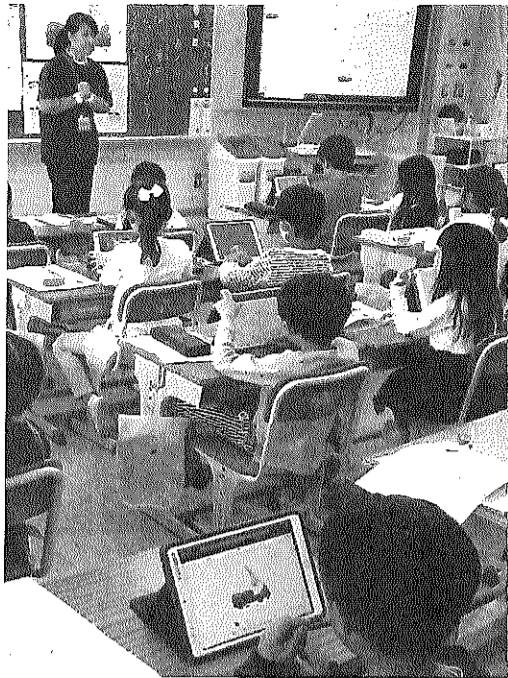


ICTを活用しながら、確かな学力も育んでいる



東京・葛飾区立東金町小 「習得」と「探究」つなぐカリキュラム

「総合」で独自「プロジェクト」設定

課題調べ、下学年へ発表

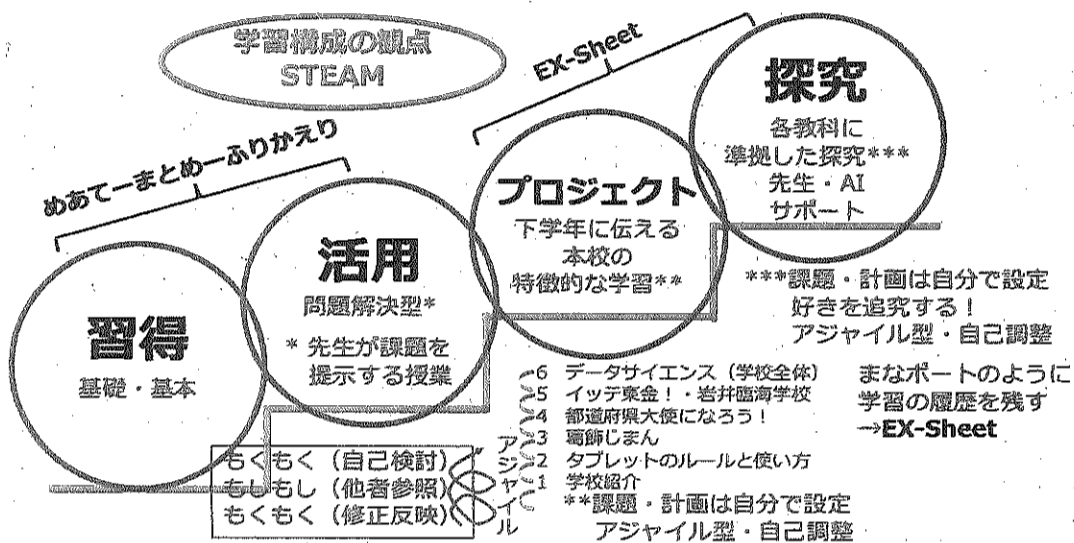
各教科の学び生かす

(公財) パナソニック教育財団の特別研究指定校として、約10年ぶりに都内の公立小学校から選ばれた東京葛飾区立東金町小学校(河村麻里校長、児童675人)。同校が開発したのは「習得」と「探究」をつなぐカリキュラム。どのような特色があるのか。指導・助言を行う北澤武・東京学芸大学大学院教授のコメントと併せて紹介する。

同校では、習得・活用を揮する一方、子どもの姿に大切に「日本型教育実」は個人差が見られた。原因は知識・技能(各教科)と「STEAM教育」(教科考え、「習得」から「探究」横断的な問題解決)を合わせた令和の学びのスタンダード化の実現に取り組んでいる。研究はコロナ禍(令和2年度)にスタート。これまでの成果や課題を受け、その発展を目指した連続性のある取り組みになる。探究学習にすぐ着手し、探究学習にすぐ着手しようと思っても簡単なことではない。そこで各教科の学びを生かし、情報活用能力や問題発見・解決能力な

個人と協働の往還で同校の実践で大きな特色は、総合的な学習の時間が「プロジェクト」と「探究」の二つに分かれているところ。探究学習にすぐ着手しようと思っても簡単なことではない。そこで各教科の学びを生かし、情報活用能力や問題発見・解決能力な

好きなこと追究にも力／能動的な児童増



「習得」と「探究」をつなぐために、同校が開発したカリキュラムの図

どを自分の力で身に付けられる同校独自の「プロジェクト」を設けた。教師から問題を提示し、それに合わせて子どもが課題を設定。調べ考え、まとめたことを下学年に発表するところに特徴がある。

一方、自分の好きをどんどん追究するのが「探究」になる。自由度の高い探究学習を繰り返すことで、力を発揮する場と位置付け、個人と協働を往還する学びを展開。児童一人一人

北澤 武 東京学芸大学大学院教授



ICTで情報活用能力も向上

東金町小学校が最終的にたどり着いたのは、子ども一人一人が「学びたい」と思える授業。その手だてとして、日未を効果的に活用している。STEAM教育に力を入れている同校では、課題解決に向けてICT端

が異なる学習過程を踏む。そのための、教師にとって従来の時系列で整理する学習指導案で計画を立てることが難しい。「課題設定」「学習計画」「情報収集」「整理・分析」「まとめ」「ふりかえり」という学習過程(アジャイル学習)を導入している同校。活動と手だてをセットに、学校独自の「アジャイル教育の学習指導案」も作成している。

働き方改革を推進

こうした特色ある教育活動

動を支える上で、河村校長が中心となり、「働き方改革」にも取り組んできた。「職員会議をなくし、教員が自由に使える時間を生み出したこと」や「小集団で効果的に学び合える研修の工夫」など、主に五つだ。「い！」などの思いから実施されたことは成果の一つ。教師の姿などを見ることで、学習環境の充実を支えるICT活用に加え、教職員にとって働きがいのある環境づくりも同僚性の向上につながったと思われる。ICT活用と探究学習で進化を続

27・1411

東金町小 03・36

申し込みはhttps://forms.g

le/links/5Pv12k97。締め

切りは2月14日。

参加費は無料。

2月末に学校公開

来年2月26日、教職志望

者に向けた学校公開を行

う。「教員の魅力を伝え

たい」という思いから実施

されたこと。教師の姿など

を見ることで、学習環境の

充実を支えるICT活用に加

え、教職員にとって働きが

いのある環境づくりも同僚

性の向上につながったと思

われる。ICT活用と探究学

習で進化を続ける。参加費

は無料。

申し込みはhttps://forms.g

le/links/5Pv12k97。締め

切りは2月14日。

参加費は無料。

2月末に学校公開

来年2月26日、教職志望

者に向けた学校公開を行

う。「教員の魅力を伝え

たい」という思いから実施